



巡礼その三十 韓国 2

2009年4月24日

朝4時起床、ジュースを飲み5時タクシーで恵比寿へ。山手線で品川、京浜急行で羽田へ。バスで国際線ターミナルへ行く。国際線はとても小さくボディチェックが一カ所しかないので混雑している。羽田から海外へ行くのは35年ぶりである。テレビを見ながらカツサンドとコーヒーを飲む。8時20分機内へ。ちょうど映画でスラムドッグミリオネアをやっていた。入国審査を終えガイドの張さんと会う。すぐに龍珠寺へ向かう。ここへは梵鐘を見に来た。ここから高速道路に乗り泰安三尊石仏へ向かう。途中海に面したパーキングエリアで昼食。私は韓国へ来たからスンドゥップ、妻はうどん、張さんとドライバーはとんかつ定食を食べる。これが大失敗でスンドゥップは東京の方が美味しいし、少しもらったとんかつ定食はとても美味しかった。泰安三尊石仏は高速を降りて山道に入りどんどん登って行く。頂上付近に大雄殿があり、駐車場がある。その一番上に堂が一つある。この中に泰安三尊石仏が祀られていた。写真と違いとても綺麗に保存されている。それにしてもよくわからない三尊形式であるが素晴らしい。時間はもう3時半になるので次の端山三尊石仏へ行く。資料では開心寺と書いてあったので開心寺の裏山にあるのかと思ってまず開心寺へ行くがここにはなにもない。面白いスカーフと巾着袋があったので買い、石仏の場所を聞く。端山三尊石仏はここから車で15分ほどの所にあるとのことですぐに出発。山の中に入り綺麗な溪流沿いに進むと橋が架かっており、その看板にここから20mと書いてある。急な坂道を上るがなかなかつかない。みんなで20mは嘘だと怒って、200mほど登ると垂直な大きな岩がありそこにあの百済の微笑みが見える。写真では汚い覆屋におおわれていたが、取り払われ自然な状態に戻してある。自然の光の中で細部までよく見える。百済の最高傑作であろう。素晴らしい。雨が降ってきた。車に戻り普願寺址石塔へ行く。ここは発掘調査の最中でビニールシートがかかっている。このロケーションは全く飛鳥である。とても不思議な感じである。普願寺は相当大きな寺院であったと思わ

れる。とても立派な石塔で素晴らしい八部衆が彫られている。これは新羅時代のものである。その他石槽、燈籠、亀趺などもあるが浮屠が素晴らしい。雨がひどくなりずぶぬれになったので全州の町へ向かう。全州観光ホテルにチェックインする。私たち好みのホテルで広いオンドル部屋にダブルベッドとシングルベッドがある。まだ寒いのでオンドルが気持ちいい。もう8時なのですぐに食事に行く。ホテルで教えてもらった食堂はもう終わっていたので、プルコギを食べる。とてもあっさりしているので日本人にとってもあう。疲れたので、ミニストップで明日に備えてビニール傘を買う。ホテルに戻り10時半に寝る。

4月25日

6時起床、7時40分出発。ホテルの裏の食堂で豆もやしクッパを食べる。目玉焼きがついている。満席で次から次に入ってくる。妻はクッパが大好きなので大満足。高速道路で一路、実相寺へ。2時間以上かかる。途中パーキングエリアでコーヒーを飲む。実相寺は平地にあり前を小川が流れている。とてもものどかでここも飛鳥に似ている。実相寺の参道に石造のチャンスンが向かい合って立っている。とてもいい感じである。広い境内の左隅に石塔などが集まっている場所があるが、国宝の百丈庵石塔がない。張さんに聞いてもらうとここから15分ほどのところにある百丈庵（実相寺の塔頭の1つ）に戻されたという。すぐに百丈庵に向かう。山の中を進むと駐車場がありそこからとても細い、けもの道みたいな道を登って行く。結構しんどい。すると舗装した道に出て道なりに歩いて行くと結構広い平地に出る。そこが百丈庵で最近修復されてここに石塔が戻されたようだ。小さな本堂と石塔と燈籠があるだけで、他にはなにもない。以前はこのようになっていたのであろう。次に全州方面に向かい、金山寺へ行く。とても大きく綺麗で公園のようになっており、駐車場も広い。参道を進むと楼門があり境内はとても広い。弥勒殿はとても大きな三層入母屋造で迫力があるが一部修復中であった。一番見たい方等戒壇舍利塔は境内の一番上の方にあり、五層石塔と並んでいる。基壇の彫刻と基壇周囲に安置された石造物が素晴らしい。受戒法会をおこなったらしい。上に乗っている舍利塔もおもしろい。とても不思議な石造物だ。寺務所でミニチュアの蓮の花の壺を買う。もう3時近くなるので寺の近くの焼き肉屋へ入り鴨の炒めもの（鴨の鍋）を食べる（絶品）。最後にご飯を入れてチャーハンにする。益山へ戻り王宮里石塔を見る。広い遺跡で現在発掘調査中なので石塔だけポツンとある。立派な百濟塔である。弥勒寺はなんと解体修理中で、中から金の舍利容器が出てきたので大変

な話題になっている。しかし解体現場を間近に見られ面白い。ここで解体された建物の基壇の四隅に飛鳥の猿石の様な石造物を見つけた。境内はとても広くあの慶州皇竜寺の二倍の敷地を持つ。境内には完成されたレプリカと幢竿支柱だけが残る。次は石仏寺でとても小さい寺院で内部に名前の通り立派な光背を持つ石仏坐像が安置されている。益山古都里の石仏はとてもユニークで 200m の距離をおいて 2 体が向き合っている。土俗的な守護神の表現が現れていると言われる。夕暮れ時のこの石仏を見ているととても不思議な気分になる。太田の儒城ホテルスパピアへチェックインする。大きなホテルである。夕食はフグ、アンコウの専門店名門家へ行く。アンコウの炒め物を食べる。まず小皿料理（キムチや煮物、サラダなど）10 品ぐらい出て来る。そして大量の豆もやしと一緒に炒められたアンコウが出て来る。うまい。残ったタレを渡してそれにご飯を入れたチャーハンを作ってもらおう。うまい。コーヒーを飲んで帰りにコンビニ GS25 でお茶とジュースを買って 10 時半に寝る。

4月26日

6 時起床、スパピアの風呂へ行く。5 時からだから結構人が多い。ちょうどいいお湯と熱いお湯と水の浴槽がある。サウナは広く人があまりいないので良い。風呂のマナーは日本と同じである。ここには個人用の小さなボックスがあり、ここにタオルと歯ブラシなどを入れている常連が多い。8 時 20 分出発。朝食はソルロンタン（牛の骨や内臓を煮込んだスープ）を食べる。味はついていないので塩・胡椒で味付けする。まず灌燭寺へ行く。あまり大きな寺ではないが韓国最大の石仏、18m の弥勒菩薩がすごい。本堂と弥勒菩薩の間に石塔と灯籠がある。石塔の前にある蓮の形の礼拝石が良い。本来お堂の中から拝むものであるらしい。大鳥寺はさらに小さく、弥勒菩薩も小さいがとても良い顔立ちでこちらの方が良い。境内も落ち着いている。田舎の畑の中を走っているとまったく日本と変わりがない。そんなのんびりした畑の中に長蝦里石塔は建っている。上部はないがとても優雅な形をした百済塔である。扶余の町は素朴でとても落ち着いた町である。扶余定林寺址 は町の中心にありとても長い築地塀を持つ。公園になっていて現在まだ発掘中で至る所ビニールシートが被せられている。韓国石塔の原点とされる五層石塔は落ち着きがあり立派で美しい。前にある講堂の中には摩滅した石仏が安置されている。毘留遮那仏と言われている。台座の蓮華彫刻が良い。小学生が先生に引率されて見学に来ていた。すぐ隣が博物館になっていて発掘されたものが展示されている。ジオラマもある。次に

国立博物館へ行く。屋外展示物を見て入館する。見所は黄金の香炉で町のシンボルにもなっている。ショップで仏像と建築の本を買う。お昼は白馬川の近くのナルトシタンという鰻専門店食べる。鰻は蒲焼きになっており切っている。まずサンチュ、エゴマ、春菊の上に鰻をのせタレをつけニンニク、すしガリと一緒に巻いて食べる。すしガリと鰻がとても良く合い絶品であるが、ちょうどしにのってニンニクを入れ過ぎ胃がもたれる。山城にいて白馬川下りをする。結構混んでいる。クルーズはいつも楽しい。洪城磨崖仏へ行く。龍鳳寺の石仏を見る予定だったが山の上であり時間がないので、入口にあった新耕里磨崖仏を見て車に戻る。修徳寺は大きなお寺で駐車場は巨大でお土産物屋と食堂がとても多い。今までの寺で一番大きい。ここから登りになって門を5もくぐる。今の季節はツツジが美しい。やっと大雄殿に付く。国宝の建物で韓国木造建築最古のものである。内部は撮影禁止でガッカリする。妻は昼のニンニクが利いていて胃がムカムカする。もう時間も遅くホテルに着いて食事をするので遅くなるので、牛肉の名産地の洪城で焼き肉を食べる。何処が美味しいかわからないので、ドライバーが信号で並んだタクシーの運転手に聴く。店はわかりにくかったが有名店らしく聴くとすぐわかった。焼肉はヤンニョンカルビとセンカルビをたのむがうちはセンカルビしか出さないとされる。私達はニンニクで胸焼けがひどく特に妻は食欲が全くない。ここはグラムでたのむ。一人前一人200gで28000ウォンである。とりあえず600gたのむ。塩と胡麻をつけて食べる。絶品である。こんなおいしい肉は初めてである。まったく脂っこくないが肉の味が素晴らしい。焼肉は霜降り肉は合わないと思う。この肉ならいくらでも食べられる。妻はこれなら食べられると日本の一人前は食べてしまった。さらに2人前追加して食べる。お腹がいっぱいになっても出されると食べられるのが不思議だ。韓国のブランド牛は恐ろしい。焼肉として食べるのなら、三田牛や松坂牛より美味しい。最後に出て来た牛のみそ汁がまた絶品である。ホテルに着いたのは10時であった。すぐに寝る。

4月27日

5時に起床、すぐに温泉に行く。まだ数人しかいない。サウナに入って40分ぐらいで戻る。8時20分近くの食堂でとても小さな貝（カワにナ）のスープでご飯を食べる。絶品。法住寺へ行くためソニ山を目指す。とても良い道でツツジや山桜が美しい。大きな駐車場を持つ法住寺は韓国で一番大きい。ここに素晴らしい樹齢600年の松がある。人はほとんどいない。参道はとても良く整

備され、遊歩道もある。朝の空気が気持ちいい。とても綺麗な川に沿って15分ぐらい歩くと山門があり、すぐ左側に目的の磨崖仏がある。思ったより大きい。境内に入ると巨大な木造五重塔と巨大な弥勒菩薩が目に見え込む。双獅子石燈、石蓮池、四天王石燈が特に良い。ここはドライバーの地元で知り合いの食堂で韓定食をたのんだら40品出た。山菜が多い。とても家庭的でここのお母さん(オムニ)は講談社から「韓国の家庭料理レシピ」という本を出したそうだ。お母さん手作りのみそを買う。ソウルへ戻り南大門市場へ行く。「のりノリ天国」で韓国海苔を買う。いきなり夕立が来た。急いで車に戻り空港へ行って、チョウさんと最後のコーヒーを飲んで羽田に向かう。